

付録

目次

付録 1	自治体へのアンケート調査票・・・・・・・・・・・・・・・・	2
付録 2	小学校へのアンケート調査票・・・・・・・・・・・・・・・・	8
付録 3	小学校への追加アンケート調査票・・・・・・・・・・・・	26
付録 4	参考及び引用 URL・・・・・・・・・・・・・・・・	39

付録1 自治体へのアンケート調査票

学校給食における食べ残しに関するアンケートのお願い（〇〇市様）（滋賀県立大学 橋本京香）

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 金谷研究室 3 回生の橋本京香と申します。私は現在、「学校給食における食べ残しの発生抑制及び有効利用に関する取組の現状と効果的な取組方法の提案」というテーマで、卒業研究を進めております。その一環として、全国の 814 の市役所（東京 23 区を含みます）の皆さまに、学校給食における食べ残し量の把握の有無を伺いたく、アンケートをお願いしています。

ご多忙中のところ、大変恐縮ですが、お答えいただける範囲で結構ですので、添付の「アンケート回答例」をご参考に、添付の「学校給食における食べ残しについてのアンケート」に 2018 年 3 月 31 日までに、oi12khashimoto@ec.usp.ac.jp（本メールのアドレスです）にメール添付でご返信いただければ幸いです。

ご教示いただいた情報につきましては、厳重に管理し、用済み後は確実に消去及び廃棄いたしますのでご安心ください。どうぞよろしくお願いいたします。

アンケートに関して不明な点や質問などがございましたら、下記のわたくし橋本の連絡先までお問合せいただければ幸いです。

<なお、以下は指導教員からのお願い文です>

橋本京香の指導教員の、滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 教授 金谷健と申します。このたびは、大変ご面倒なお願いをさせていただき、申し訳ございません。

差支えない範囲で結構ですので、ご教示いただければありがたく存じます。どうかよろしく願いいたします。

なお、当研究室の研究内容等は、下記サイトをご参照いただければ幸いです。

金谷研究室 HP <http://kanayaken.web.fc2.com/>

滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科
金谷研究室 3 回生 橋本京香（調査担当者）

e-mail: oi12khashimoto@ec.usp.ac.jp

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

研究室 TEL : 0749-28-8279

FAX : 0749-28-8349

学校給食における食べ残しに関するアンケートのお願い

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 金谷研究室 3 回生の橋本京香と申します。私は現在、「学校給食における食べ残しの発生抑制及び有効利用に関する取組の現状と効果的な取組方法の提案」というテーマで、卒業研究を進めております。その一環として、全国の 814 の市役所（東京 23 区を含みます）の皆さまに、学校給食における食べ残し量の把握の有無を伺いたく、アンケートをお願いしています。

ご多忙中のところ、大変恐縮ですが、お答えいただける範囲で結構ですので、次ページからのアンケートに、別に添付の「アンケート回答例」をご参考に、2018 年 4 月 9 日までに、oi12khashimoto@ec.usp.ac.jp（本メールのアドレスです）にメール添付でご返信いただければ幸いに存じます。

ご教示いただいた情報につきましては、厳重に管理し、用済み後は確実に消去及び廃棄いたしますのでご安心ください。どうぞよろしくお願ひします。

アンケートに関して不明な点や質問などがございましたら、下記のわたくし橋本の連絡先までお問合せいただければ幸いです。

2018 年 3 月 19 日

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科
金谷研究室 3 回生 橋本京香 (調査担当者)
e-mail: oi12khashimoto@ec.usp.ac.jp
研究室 TEL : 0749-28-8279
FAX : 0749-28-8349

<なお、以下は指導教員からのお願い文です>

橋本京香の指導教員の、滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 教授 金谷健と申します。このたびは、大変ご面倒なお願いをさせていただき、申し訳ございません。

差支えのない範囲で結構ですので、ご教示いただければありがたく存じます。どうかよろしくお願ひいたします。

なお、当研究室の研究内容等は、下記サイトをご参照いただければ幸いに存じます。
金谷研究室 HP <http://kanayaken.web.fc2.com/>

【ご教示していただくにあたってのお願い】

- ・ご回答は、当てはまる番号を1つだけ□でお囲みください。
- ・質問に、「その他（ ）」という選択肢がありますが、この選択肢をお選びになる場合には（ ）内に具体的な内容をお書きください。
- ・なおこのアンケートに関してご質問等ございましたら、上記の金谷研究室の橋本まで、お電話・ファックスまたはE-mailにてご連絡いただきますようお願いいたします。

お手数ですが、最初に基本情報についてお答えできる範囲でお教えてください。

市（区）名	:	_____
ご担当者様名	:	_____
所属部署名	:	_____
TEL	:	_____
E-mail	:	_____@_____

問1 貴自治体の小学校では、食べ残し量を把握（計量）していますか。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. すべての小学校で把握している（__校）2. 一部の小学校で把握している（__校中__校）3. 給食センターごとに把握している4. 一部の給食センターで把握している5. 市としては把握していない6. その他（ ） |
|---|

問1で2，4を回答された方のみ差支えがなければ具体的な小学校名，給食センター名について教えてください。

--

問2 今後、橋本が卒業研究で、「学校給食における食べ残しの発生抑制及び有効利用に関する取組の現状と効果的な取組方法の提案」について研究していく上で、「こうした点を研究すべき、あるいは調査研究をするとおもしろい」とお考えの点がございましたら、是非ご教示していただければ幸いです。

回答欄

<備考欄>

以上です。ご教示、ありがとうございました。

回答例

【ご教示していただくにあたってのお願い】

- ・ご回答は、当てはまる番号を1つだけ□でお囲みください。
- ・質問に、「その他（ ）」という選択肢がありますが、この選択肢をお選びになる場合には（ ）内に具体的な内容をお書きください。
- ・なおこのアンケートに関してご質問等ございましたら、上記の金谷研究室の橋本まで、お電話・ファックスまたはE-mailにてご連絡いただきますようお願いいたします。

市(区)名 : 〇〇市

ご担当者様名 : 給食太郎

所属部署名 : 〇〇部〇〇課

TEL : 〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇

E-mail : kyusyoku @ tabenokosi.jp

問1 残食量を把握していますか。

1. すべての小学校で把握している
2. 一部の小学校で把握している (15校中4校)
3. 給食センターごとに把握している
4. 一部の給食センターごとに把握している
5. 市としては把握していない
6. その他 ()

問1で2, 4を回答された方のみ差支えがなければ具体的な小学校名, 給食センター名について教えてください。

〇〇小学校, △△小学校, ××小学校, □□小学校

問2 今後、橋本が卒業研究で、「学校給食における食べ残しの発生抑制及び有効利用に関する取組の現状と効果的な取組方法の提案」について研究していく上で、「こうした点を研究すべき、あるいは調査研究をするとおもしろい」とお考えの点がございましたら、是非ご教示していただければ幸いです。

回答欄

〇〇〇について研究すべきである。

<備考欄>

当市としては、〇〇〇について全国的な傾向がわかると、学校給食における食べ残しの発生抑制及び有効利用についての施策検討に、とても役立つので。

以上です。ご教示、ありがとうございました。

付録 2 小学校へのアンケート調査票

件名：学校給食に関するアンケートの市内小学校への転送のお願い（滋賀県立大学 橋本京香）

〇〇市教育委員会〇〇課御中（〇〇様）

～学校給食における食べ残しの発生抑制に向けた 小学校の取組に関するアンケートの〇〇小学校への転送のお願い～

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 金谷研究室 4 回生の橋本京香と申します。今年 3 月頃にお問い合わせ致しましたアンケート調査では、ご回答頂き、誠にありがとうございました。アンケート調査を踏まえ、引き続き「学校給食における食べ残しの発生抑制に関する取組の現状と効果的な取組方法の提案」というテーマで、卒業研究を進めております。

その一環として、小学校の現状や取組などを伺いたく、小学校へのアンケートのご協力をお願いしています。前回、自治体内の小学校での食べ残し量の把握状況をアンケート調査させていただいた結果、すべての小学校で食べ残し量を把握しているとご回答頂いた自治体は、貴自治体を含め、188 自治体ありました。それら 188 自治体に立地される小学校 4443 校から、500 校を無作為に抽出させていただきました。抽出させていただいた 500 校の中に貴自治体の〇〇小学校が含まれました。

そのため、ご多忙中のところ大変恐縮でございますが、〇〇小学校へ本メールを転送いただければ幸いです。よろしく願いいたします。

アンケートに関して不明な点や質問などがございましたら、下記の E-mail アドレスまでお問合せいただければ幸いです。

2018 年 8 月 日()

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科
金谷研究室 4 回生 橋本京香（調査担当者）

E-mail : oi12khashimoto@ec.usp.ac.jp

金谷研究室 TEL : 0749-28-8279

FAX : 0749-28-8349

小学校での学校給食ご担当の皆様

～学校給食における食べ残しの発生抑制に向けた
小学校の取組に関するアンケートへのご協力のお願い～

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 金谷研究室 4 回生の橋本京香と申します。

私は現在、「学校給食における食べ残しの発生抑制に関する取組の現状と効果的な取組方法の提案」というテーマで、卒業研究を進めております。

その一環として、先日、全国の市制自治体に、小学校での食べ残し量の把握状況を、アンケート調査させていただきました。その結果、「把握している」と回答いただいた 188 自治体に立地される小学校 4443 校から、500 校を無作為に抽出させていただき、小学校の現状や取組などを伺いたく、アンケートのご協力をお願いしています。

そのため、ご多忙中のところ大変恐縮でございますが、ご教示可能な範囲で結構ですので、別ファイルのアンケート回答例をご参考に、次ページ以降のアンケートにご回答いただき、わたくし橋本宛に 2018 年 10 月 31 日 (水) までにメール添付にてお送りいただければ、ありがたく存じます。

なお、ご教示いただいた情報につきましては、厳重に管理し、用済み後は確実に消去(及び廃棄)いたしますのでご安心ください。

アンケートに関して不明な点や質問などがございましたら、下記の E-mail アドレスまでお問合せいただければ幸いです。

2018 年 10 月 10 日(水)

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科
金谷研究室 4 回生 橋本京香 (調査担当者)

E-mail : oi12khashimoto@ec.usp.ac.jp

金谷研究室 TEL : 0749-28-8279

FAX : 0749-28-8349

<なお、以下は指導教員からのお願い文です>

橋本京香の指導教員の、滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 教授 金谷健と申します。このたびは、大変ご面倒なお願いをさせていただき、申し訳ございません。

差支えない範囲で結構ですので、ご教示いただければありがたく存じます。どうかよろしく願いいたします。

なお、当研究室の研究内容等は、下記サイトをご参照いただければ幸いに存じます。

金谷研究室 HP <http://kanayaken.web.fc2.com/>

[ご教示いただくに当たってのお願い]

- ・ご回答は、特に断りのない場合には、当てはまる番号を1つだけ□でお囲みください。
- ・質問に、「その他（ ）」という選択肢がありますが、この選択肢をお選びになる場合には（ ）内に具体的な内容をお書きください。
- ・なお、このアンケートに関してご質問等ございましたら、上記の金谷研究室の橋本まで、お電話・ファックスまたはE-mailにてご連絡いただきますようお願いいたします。

お手数ですが、最初に基本情報についてお答えできる範囲でお教えてください。

市（区）名：	_____
小学校名：	_____
ご担当者様名：	_____
職階：	_____
TEL：	_____
E-mail：	_____@_____

なお、アンケートにご協力いただいた小学校のうち、調査結果の送付を希望される方には卒業論文完成後（平成31年3月中旬）に卒業論文の要旨を添付させていただきます。

卒業論文要旨の送付を希望されますか。

- A. 希望する（ 郵送 ・ メール添付 : どちらかに○）
- B. 希望しない

目次

- P.2 目次
- P.3 大問1
- P.4 大問2
- P.6 大問3
- P.8 大問4
- P.9 情報公開可否

大問 1. 小学校・給食の概要について

問 1 全校児童数をお教えてください

() 人

問 2 給食時間と、おおよその喫食時間が分かればお教えてください

給食時間 () 時 () 分～ () 時 () 分
準備・片付け時間を除いたおおよその喫食時間 () 分

問 3 調理場の方式についてお教えてください

1. 単独調理 (自校方式)
2. 共同調理 (センター方式)
3. その他 ()

問 4 栄養士または栄養教諭の先生はいますか

1. 栄養士のみ
2. 栄養教諭のみ
3. どちらもいる (兼任可)
4. どちらもいない

問 5 教室に冷暖房がついていますか

1. 冷暖房ともについている
2. 扇風機のみについている
3. ストープのみについている
4. 冷暖房ともについていない
5. その他 ()

問 6 食缶の保温性・保冷性を高めるために工夫していることがあればお教えてください

大問 2. 食べ残し量の計量について

問 1 食べ残し量を計量される場所についてお教えてください.

1. 小学校
2. 給食センター
3. その他 ()

問 2 計量の単位についてお教えてください.

1. クラス単位
2. 学年単位
3. 学校単位
4. その他 ()

問 3 計量の頻度についてお教えてください.

1. 毎日
2. ある特定の頻度 (週, 月, 年 回)
3. 給食週間のみ
4. その他 ()

問 4 計量を行う方についてお教えてください.

1. 調理師
2. 栄養士または栄養教諭
3. 担任の先生
4. 児童
5. その他 ()

問 5 計量の方法についてお教えてください.

1. おかずごとに全て計量
2. 主食のみ計量
3. 主食以外計量
4. 全体の合計
5. その他 ()

- 問6 牛乳の飲み残し量は把握していますか
1. 残った牛乳パック（牛乳瓶）の個数を把握している
 2. 飲み残しの量を重さで把握している
 3. 把握していない
 4. その他（ ）
- 問7 食べ残し量の計り方についてお教えてください
1. 容器ごとに計量し、後で容器の重さを引く
 2. 目分量
 3. 食べ残しがあるかないかのみ把握
 4. その他（ ）
- 問8 計量するうえで大変なことをお教えてください（複数回答可）
1. 時間がかかる
 2. 食べ残し量が多い
 3. 人手が足りない
 4. その他（ ）
- 問9 計量したデータの公表は行っていますか
1. 給食日よりなどで公表している
 2. 公表していない
 3. その他（ ）
- 問10 食べ残し量について可能であればお教えてください
- 1人1日当たり約（ ）g
- 問11 問10でご教示いただいた食べ残し量について、以下の点をお教えてください
- (1) ある特定の期間のデータですか、年間平均のデータですか
1. ある特定の期間（給食週間の平均、その他（ ））
 2. 年間平均
 3. その他（ ）
- (2) 対象は、全校児童ですか、特定の学年ですか
1. 全校児童
 2. 特定の学年（ ）
 3. その他（ ）

(3) 教職員の皆様の食べ残し量も、含まれていますか

1. 含む (教職員 人)
2. 含まない

(4) 液状のおかずや牛乳の重さも含まれていますか

1. 液状のおかずを含む
2. 牛乳を含む
3. 液状のおかずと牛乳どちらも含む
4. 液状のおかずと牛乳どちらも含まない
5. その他 ()

大問 3. 食べ残し発生抑制のための取組について

問 1 食べ残しを減らす取組を行っていますか (複数回答可)

1. 給食時間中に呼びかけを行っている
2. 授業時間を使って食育, 栄養教育を行っている
3. 委員会活動を利用している
4. 全校集会などの場で呼びかけを行っている
5. 畑などを活用した体験学習を行っている
6. 女子児童への指導を工夫している
7. その他の取組 ()
8. 特に行っていない

問 1 で取組を行っている (1～7) と答えた方は問 2 へお願いいたします。
特に行っていない (8) と答えた方は問 4 へお願いいたします。

問 2 具体的にどのような取組を行っているかお教えてください (対象学年, 頻度など)

※問 1 で複数回答の場合, どの番号に対応した内容であるか記述をお願いいたします。

問3 問1の行っている取り組みの中で、効果があると思われるものとあまり効果が期待できないものについてお教えてください（複数回答可）

- ・効果があると思われるもの（番号）（ ）
- ・効果があまりない（分からない）もの（番号）（ ）

備考（理由等教えていただけると幸いです）

問4 先生への指導の有無についてお教えてください

1. 学校で統一した方法に基づき指導している
2. 指導方法は各担任の先生に任せている
3. その他（ ）

問5 保護者や地域と連携して取り組んでいることがあればお教えてください

問6 不人気メニューを人気メニューにかえるために工夫している点があればお教えてください

問7 食べ残しの発生抑制取り組みによる弊害について（複数回答可）

1. 指導方法が分からない
2. 効果が見えにくい
3. 子どもに強要できない
4. コストがかかる
5. 特になし
6. その他（ ）

大問4. 考えられる食べ残しの原因について

問1 食べ残しの原因について考えられるものについてお教えてください（複数回答可）

1. 給食の量が多い
2. 嫌いな食べ物である
3. 食べる時間が足りない
4. 美味しくない
5. 給食の温度（冷めてしまっている、または、熱い）
6. 教室の温度（暑くて食欲が沸かない等）
7. その他（ ）

問2 給食の献立の中でこういった種類（魚、肉、ごはん等）が多いのか分かる範囲でお教えてください（複数回答可）

1. 白米
2. パン
3. 魚類
4. 肉類
5. 野菜類
6. 果物類
7. 牛乳
8. その他（ ）

情報公開の可否について

今回お答えいただいた内容は、卒業研究や学会発表等のみに使用します。その際、小学校が特定されて困る質問がございましたら、お手数ですが以下の設問番号に○をしてください。

- 大問1 問1 問2 問3 問4 問5 問6
大問2 問1 問2 問3 問4 問5 問6 問7 問8 問9 問10
 問11 (1) (2) (3) (4)
大問3 問1 問2 問3 問4 問5 問6 問7
大問4 問1 問2
全て
該当なし

質問は以上です。長い間ご面倒な質問に答えいただき、ありがとうございました。この結果は大切にさせていただきます。この調査に関してのご意見、ご感想等、何かございましたら、以下にご記入いただければ幸いです。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート回答例

お手数ですが、最初に基本情報についてお答えできる範囲でお教えてください。

市（区）名：〇〇市
小学校名：〇〇小学校
ご担当者様名：橋本京香
職階：栄養士
TEL：0749-28-8279
E-mail：oi12khashimoto @ ec.usp.ac.jp

なお、アンケートにご協力いただいた小学校のうち、調査結果の送付を希望される方には卒業論文完成後（平成31年3月中旬）に卒業論文の要旨を添付させていただきます。

卒業論文要旨の送付を希望されますか。

- A. 希望する（ 郵送 ・ メール添付：どちらかに○）
B. 希望しない

大問 1. 小学校・給食の概要について

問 1 全校児童数をお教えてください

(300) 人

問 2 給食時間と、おおよその喫食時間が分かればお教えてください

給食時間 (12) 時 (10) 分～ (12) 時 (50) 分
準備・片付け時間を除いたおおよその喫食時間 (20) 分

問 3 調理場の方式についてお教えてください

1. 単独調理 (自校方式)
2. 共同調理 (センター方式)
3. その他 ()

問 4 栄養士または栄養教諭の先生はいますか

1. 栄養士のみ
2. 栄養教諭のみ
3. どちらもいる (兼任可)
4. どちらもいない

問 5 教室に冷暖房がついていますか

1. 冷暖房ともについている
2. 扇風機のみについている
3. ストープのみについている
4. 冷暖房ともについていない
5. その他 ()

問 6 食缶の保温性・保冷性を高めるために工夫していることがあればお教えてください

保温性・保冷性のある容器で給食を提供することで少しでも適切な温度を保つようになっている。

大問 2. 食べ残し量の計量について

問 1 食べ残し量を計量される場所についてお教えてください。

1. 小学校
2. 給食センター
3. その他 ()

問 2 計量の単位についてお教えてください。

1. クラス単位
2. 学年単位
3. 学校単位
4. その他 ()

問 3 計量の頻度についてお教えてください。

1. 毎日
2. ある特定の頻度 (週, 月, 年 1回)
3. 給食週間のみ
4. その他 ()

問 4 計量を行う方についてお教えてください。

1. 調理師
2. 栄養士または栄養教諭
3. 担任の先生
4. 児童
5. その他 ()

問 5 計量の方法についてお教えてください。

1. おかずごとに全て計量
2. 主食のみ計量
3. 主食以外計量
4. 全体の合計
5. その他 ()

- 問6 牛乳の飲み残し量は把握していますか
1. 残った牛乳パック（牛乳瓶）の個数を把握している
 2. 飲み残しの量を重さで把握している
 3. 把握していない
 4. その他（ ）
- 問7 食べ残し量の計り方についてお教えてください
1. 容器ごとに計量し、後で容器の重さを引く
 2. 目分量
 3. 食べ残しがあるかないかのみ把握
 4. その他（ ）
- 問8 計量するうえで大変なことをお教えてください（複数回答可）
1. 時間がかかる
 2. 食べ残し量が多い
 3. 人手が足りない
 4. その他（ ）
- 問9 計量したデータの公表は行っていますか
1. 給食だよりなどで公表している
 2. 公表していない
 3. その他（ ）
- 問10 食べ残し量について可能であればお教えてください
- 1人1日当たり約（ 10 ）g
- 問11 問10でご教示いただいた食べ残し量について、以下の点をお教えてください
- (1) ある特定の期間のデータですか、年間平均のデータですか
1. ある特定の期間（給食週間の平均、 その他（週1回の計量の平均））
 2. 年間平均
 3. その他（ ）
- (2) 対象は、全校児童ですか、特定の学年ですか
1. 全校児童
 2. 特定の学年（ ）
 3. その他（ ）

(3) 教職員の皆様の食べ残し量も、含まれていますか

1. 含む（教職員 人）
2. 含まない

(4) 液状のおかずや牛乳の重さも含まれていますか

1. 液状のおかずを含む
2. 牛乳を含む
3. 液状のおかずと牛乳どちらも含む
4. 液状のおかずと牛乳どちらも含まない
5. その他（ ）

大問 3. 食べ残し発生抑制のための取組について

問 1 食べ残しを減らす取組を行っていますか（複数回答可）

1. 給食時間中に呼びかけを行っている
2. 授業時間を使って食育，栄養教育を行っている
3. 委員会活動を利用している
4. 全校集会などの場で呼びかけを行っている
5. 畑などを活用した体験学習を行っている
6. 女子児童への指導を工夫している
7. その他の取組（ ）
8. 特に行っていない

問 1 で取組を行っている（1～7）と答えた方は問 2 へお願いいたします。
特に行っていない（8）と答えた方は問 4 へお願いいたします。

問 2 具体的にどのような取組を行っているかお教えてください（対象学年，頻度など）

※問 1 で複数回答の場合，どの番号に対応した内容であるか記述をお願いいたします。

例) 全学年を対象に学内の畑を利用し，野菜の栽培を行い，収穫後は給食で使用することで，野菜への苦手意識をなくす取組を行っている。（問 1 の 5）

問3 問1の行っている取り組みの中で、効果があると思われるものとあまり効果が期待できないものについてお教えてください（複数回答可）

- ・効果があると思われるもの（番号）（ 5 ）
- ・効果があまりない（分からない）もの（番号）（ 1, 2, 3 ）

備考（理由等教えていただけると幸いです）

自分達で栽培した野菜は普段野菜を食べない児童もよく食べる傾向が見られ、好き嫌いの削減、食べ残しの減少効果がみられるが、給食時間中の呼びかけでは、あまり効果が実感しにくい。

問4 先生への指導の有無についてお教えてください

1. 学校で統一した方法に基づき指導している
2. 指導方法は各担任の先生に任せている
3. その他（ ）

問5 保護者や地域と連携して取り組んでいることがあればお教えてください

家庭でもできるだけ様々な食材や調理法を用いた料理を提供することを願いし、子どもの好き嫌いをなくすよう呼びかけている。

問6 不人気メニューを人気メニューにかえるために工夫している点があればお教えてください

食べ残しが多い魚などのメニューの日はデザートをつけている。

問7 食べ残しの発生抑制取り組みによる弊害について（複数回答可）

1. 指導方法が分からない
2. 効果が見えにくい
3. 子どもに強要できない
4. コストがかかる
5. 特になし
6. その他（ ）

大問4. 考えられる食べ残しの原因について

問1 食べ残しの原因について考えられるものについてお教えてください（複数回答可）

1. 給食の量が多い
2. 嫌いな食べ物である
3. 食べる時間が足りない
4. 美味しくない
5. 給食の温度（冷めてしまっている、または、熱い）
6. 教室の温度（暑くて食欲が沸かない等）
7. その他（ ）

問2 給食の献立の中でこういった種類（魚、肉、ごはん等）が多いのか分かる範囲でお教えてください（複数回答可）

1. 白米
2. パン
3. 魚類
4. 肉類
5. 野菜類
6. 果物類
7. 牛乳
8. その他（ ）

情報公開の可否について

今回お答えいただいた内容は、卒業研究や学会発表等のみに使用します。その際、小学校が特定されて困る質問がございましたら、お手数ですが以下の設問番号に○をしてください。

- 大問 1 問 1 問 2 問 3 問 4 問 5 問 6
大問 2 問 1 問 2 問 3 問 4 問 5 問 6 問 7 問 8 問 9 **問 10**
 問 1 1 (1) (2) (3) (4)
大問 3 問 1 問 2 問 3 問 4 問 5 問 6 問 7
大問 4 問 1 問 2
全て
該当なし

質問は以上です。長い間ご面倒な質問に答えいただき、ありがとうございました。この結果は大切に使用させていただきます。この調査に関してのご意見、ご感想等、何かございましたら、以下にご記入いただければ幸いです。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

付録3 小学校への追加アンケート調査票

学校給食における食べ残し削減のための取り組みに関する追加アンケートのお願い（滋賀県立大学 橋本京香）

小学校での学校給食ご担当の皆様

～小学校給食における食べ残しの発生抑制に向けた 取り組みの効果に関する追加アンケートへのご協力をお願い～

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 金谷研究室 4 回生の橋本京香と申します。

今年 8～10 月頃にお問い合わせ致しましたアンケート調査では、ご回答頂き、誠にありがとうございました。引き続き「小学校給食における食べ残しの発生抑制に関する取り組みの現状と効果的な取組方法の提案」というテーマで、卒業研究を進めております。

アンケート調査結果を踏まえ、前回のアンケート調査にご協力頂いた小学校を対象に、小学校給食の食べ残し削減に関する取り組みの課題やそれに対する対策について、実現可能性、改善可能性を伺いたく、追加アンケートのご協力をお願いしています。

そのため、ご多忙中のところ大変恐縮でございますが、ご教示可能な範囲で結構ですので、添付のエクセルファイルの「ご教示いただくに当たってのお願い」および各ワークシートの回答例をご参照いただき、「実施可能性について」と「改善可能性について」のワークシートにご記入いただき、わたくし橋本宛に 2018 年 12 月 17 日（月） までにメール添付にてお送りいただければ、ありがたく存じます。

なお、ご教示いただいた情報につきましては、厳重に管理し、用済み後は確実に消去（及び廃棄）いたしますのでご安心ください。

追加アンケートに関して不明な点や質問などがございましたら、下記の E-mail アドレスまでお問合せいただければ幸いです。

2018 年 11 月 26 日(月)

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科
金谷研究室 4 回生 橋本京香（調査担当者）

E-mail : oi12khashimoto@ec.usp.ac.jp

金谷研究室 TEL : 0749-28-8279

FAX : 0749-28-8349

<なお、以下は指導教員からのお願い文です>

橋本京香の指導教員の、滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 教授 金谷健と申します。このたびは、大変ご面倒なお願いをさせていただき、申し訳ございません。

差支えない範囲で結構ですので、ご教示いただければありがたく存じます。どうかよろしくお願いいたします。

なお、当研究室の研究内容等は、下記サイトをご参照いただければ幸いに存じます。

金谷研究室 HP <http://kanayaken.web.fc2.com/>

ご教示いただくにあたってのお願い

小学校での学校給食ご担当の皆様

～小学校給食における食べ残しの発生抑制に向けた取り組みの効果に関するアンケートへのご協力をお願いします～

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 金谷研究室4回生の橋本京香と申します。

今年8～10月頃にお願ひ致しましたアンケート調査では、ご回答頂き、誠にありがとうございました。引き続き「小学校給食における食べ残しの発生抑制に関する取り組みの現状と効果的な取組方法の提案」というテーマで、卒業研究を進めております。

アンケート調査結果を踏まえ、前回のアンケート調査にご協力頂いた小学校を対象に、小学校給食の食べ残し削減に関する取り組みの課題やそれに対する対策について、実現可能性、改善可能性を伺いたく、追加アンケートのご協力を願ひしています。

そのため、ご多忙のところ大変恐縮でございますが、ご教示可能な範囲で結構ですので、このエクセルファイルの「ご教示いただくに当たってのお願い」および各ワークシートの回答例をご参照いただいて、「実施可能性について」と「改善可能性について」のワークシートにご記入いただき、わたくし橋本宛に2018年12月21日（金）までにメール添付にてお送りいただければ、ありがたく存じます。

なお、ご教示いただいた情報につきましては、厳重に管理し、用済み後は確実に消去(及び廃棄)いたしますのでご安心ください。追加アンケートに関して不明な点や質問などがございましたら、下記のE-mailアドレスまでお問合せいただければ幸いです。

2018年11月30日(金)

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科

金谷研究室 4回生 橋本京香 (調査担当者)

E-mail : oi12khashimoto@ec.usp.ac.jp

金谷研究室 TEL : 0749-28-8279

FAX : 0749-28-8349

<なお、以下は指導教員からのお願い文です>

橋本京香の指導教員の、滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 教授 金谷健と申します。このたびは、大変ご面倒なお願いをさせていただき、申し訳ございません。差支えない範囲で結構ですので、ご教示いただければありがたく存じます。どうかよろしくお願いいたします。

なお、当研究室の研究内容等は、下記サイトをご参照いただければ幸いに存じます。

金谷研究室HP <http://kanayaken.web.fc2.com/>

[ご教示いただくに当たってのお願い]

- ・各エクセルのワークシートに回答例を設けてあります。
そちらをご参考に、「実施可能性について」と「改善可能性について」の回答欄にお答えいただければ幸いです。
- ・回答に補足が必要な場合は、補足欄にご記入ください。
- ・なお、このアンケートに関してご質問等ございましたら、左の金谷研究室の橋本まで、お電話・ファックスまたはE-mailにてご連絡いただきますようお願いいたします。

実施可能性について

小学校給食における食べ残しの発生抑制の取り組みについて、アンケート結果から得られた課題に対応する対策を以下のようにとめました。

それぞれの対応策について、貴小学校では実施可能であるか、下記の回答例をご参考に選択肢 1～6 の中から当てはまるものの 1 つに○をつけてください。

選択肢は、1. 実施することは難しい、2. 実施することはやや難しい、3. 準備すれば実施することができる、4. すぐに実施可能な 4 段階の評価です。

なお、すでに実施している場合には 5 を、わからない場合は 6 を選択ください。

また、各回答の選択理由や、すでに実施済みの場合はどのような方法であったか等について、可能でしたら補足欄にご記入いただければ助かります。

課題	対応策	実施は						補足欄
		難しい 1	2	3	4	5	わからない 6	
食べる時間が足りない、 給食の準備時間の目標を決め、 喫食時間を確保する 静かに食べる時間を設け食べることに 集中できるようにする						○		全校で統一して給食の準備を15分で終わらせるという目標を掲げている。高学年は目標達成できているクラスが多いが、低学年は少し時間がかかっている。 総費がかかる取り組みではないため、学級担任の呼びかけ次第で取り組めると思った。

お手数ですが、はじめに基本情報についてお教えください。前回のアンケートと同じ方が記入される場合は、市（区）名と小学校名、お名前だけで結構です。

市(区)名：
 小学校名：
 ご担当者様名：
 職階：
 TEL：
 FAX：
 E-mail：

回答欄	課題	対応策	実施は難しい		← →		実施可能	すでに実施済み	わからない	補足欄
			1	2	3	4				
食べる時間が足りない	給食の準備時間の目標を決め、喫食時間を確保する 静かに食べる時間を設け食べること集中できるようにする	いただきますの前に量を調整する時間を設ける								
給食の量が多い	給食サンプルを参考にあらかじめ規定量を盛り付け最初から食缶に残らないよう配膳する(盛り付けられた量が規定量と指導する)	給食時間中に呼びかけを行う 人気のメニューに入れる 切り方を工夫する(大きさ、形など) 味付けを工夫する 彩りをよくするなど見た目の工夫								

課題	対応策	実施は 難しい		← →		実施可能	すでに 実施済み	わから ない	補足欄
		1	2	3	4				
嫌いな食べものがある	学校職員と調理員との意見交換を行う								
	他校とのレシピ交換								
	繰り返し提供することで抵抗をなくす								
	セルフでおにぎりをつくれるようする (おにぎりの具として食べる)								
	食べ残しのある児童に理由を聞く								
	児童が考えた献立を取り入れる								
	暑い時期など白ご飯が食べづらそうな ときはふりかけなど組み合わせる								
	不人気メニュー（魚や野菜など）のおかわりを した人を優先的に人気メニュー（デザートな ど）のおかわりができるようにする								
	体験学習を通じて苦手意識をなくす								
	給食にも使っている地場産の食材の 生産者を招き一緒に給食を食べる								
献立について食材や調理員の思いなどを 写真等を使って知らせる									

課題	対応策	実施は 難しい 1	← →		実施可能 4	すでに 実施済み 5	わから ない 6	補足欄
			2	3				
初めて見る食べ物に 対する抵抗	給食時間中に呼びかけを行う							
	食材の栄養価や行事食等の話をする							
	繰り返し提供することで抵抗をなくす							
	家庭でも様々な食材を提供することを お願いする							
	保護者に苦手な食材を使った 人気メニューのレシピ等を配付する							
教員の意識の差	学校全体で取り組み期間を設ける (年間計画で食育活動を実施)							
	学校で統一の方針を決める							
	指導内容を職員会議等で共有する							

課題	対応策	実施は 難しい 1	← →		実施可能 4	すでに 実施済み 5	わから ない 6	補足欄
			2	3				
子どもに強要できない	給食時間に呼びかけを行う							
	学校全体で取り組み期間を設ける (年間計画で食育活動を実施)							
	給食センター(調理場)の見学を行う							
	児童が児童へ声かけ(委員会の利用など)							
	残さず食べた児童やクラスに対しシールを 配ったり表彰したりする							
	掲示物による呼びかけ							

改善可能性について

小学校給食における食べ残しの発生抑制の取り組みについて、アンケート結果から得られた課題に対応する対策を以下のようにとまとめました。

それぞれの対応策について実施された場合、どれほど改善可能性があるのか、下記の回答例をご参考に選択肢 1～5 から 1 つ〇をご記入ください。

選択肢は、1. 効果は得られない、2. 効果はあまり得られない、3. 効果はやや得られる、4. 十分な効果を得られるの 4 段階の評価です。わからない場合は 5 を選択ください。

なお、すでに実施されている場合は、実施したうえでどれほどの効果があったのか、当てはまるものを◎でご記入ください。また、各回答の選択理由や、詳細などについて、可能でしたら補足欄にご記入いただければ助かります。

課題	対応策	効果なし					効果あり					補足欄	
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
食べる時間が足りない	給食の準備時間の目標を決め、喫食時間を確保する 静かに食べる時間を設け食べることに集中できるようにする								◎				準備を15分で終わらせるとこの目標を掲げており、取り組み前と比べ、喫食時間を確保でき、食べ残しが減ったと感じる。 実施していないため分からないが、ある程度効果があると考える。

回答欄	課題	対応策	効果なし					効果あり					わから ない	補足欄	
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
	食べる時間が足りない	給食の準備時間の目標を決め、 喫食時間を確保する 静かに食べる時間を設け食べることに 集中できるようにする													
	給食の量が多い	いただきますの前に量を調整する時間を設ける 様子をしながら学級担任が児童の配り残しを 配る 給食サンプルを参考にあらかじめ規定量を 盛り付け最初から食缶に残らないよう配在す る（盛り付けられた量が規定量と指導する）													

課題	対応策	効果なし					効果あり					わから ない	補足欄	
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
嫌いな食べものがある	給食時間中に呼びかけを行う													
	人気のメニューに入れる													
	切り方を工夫する（大きさ、形など）													
	味付けを工夫する													
	彩りをよくするなど見た目の工夫													
	学校職員と調理員との意見交換を行う													
	他校とのレシビ交換													
	繰り返し提供することで抵抗をなくす													
	セルフでおにぎりをつくれるようする （おにぎりの具として食べる）													
	食べ残しのある児童に理由を聞く													

課題	対応策	効果なし					効果あり		わから ない	補足欄
		1	2	3	4	5				
嫌いな食べ物がある	児童が考えた献立を取り入れる									
	暑い時期など白ご飯が食べづらそうなときはふりかけなど組み合わせる									
	不人気メニュー（魚や野菜など）のおかわりをした人を優先的に人気メニュー（デザートなど）のおかわりができるようにする									
	体験学習を通じて苦手意識をなくす									
	給食にも使っている地場産の食材の生産者を招き一緒に給食を食べる									
	献立について食材や調理員の思いなどを写真等を使って知らせる									
	給食時間中に呼びかけを行う									
	食材の栄養価や行事食等の話をする									
	繰り返し提供することで抵抗をなくす									
	家庭でも様々な食材を提供することを願う									
初めて見る食べ物に対する抵抗	保護者に苦手な食材を使った人気メニューのレシピ等を配付する									

課題	対応策	効果なし ← → 効果あり					わから ない	補足欄
		1	2	3	4	5		
子どもに強要できない	給食時間中に呼びかけを行う							
	学校全体で取り組み期間を設ける (年間計画で食育活動を実施)							
	給食センター（調理場）の見学を行う							
	児童が児童へ声かけ（委員会の利用など）							
	残さず食べたい児童やクラスに対しシールを 配ったり表彰したりする							
	掲示物による呼びかけ							
	学校全体で取り組み期間を設ける (年間計画で食育活動を実施)							
	学校で統一の方針を決める							
	指導内容を職員会議等で共有する							
	教員の意識の差							

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
 なお、「実施可能性について」の回答がお済みでなければ、そちらもご回答いただければ幸いです。

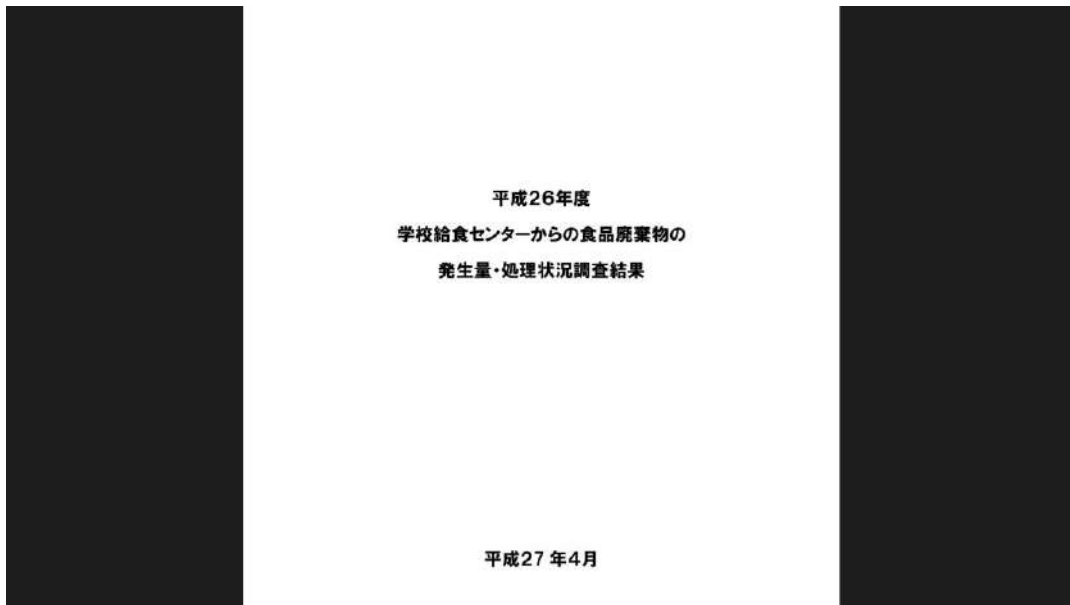
付録 4 参考及び引用 URL

環境省：学校給食の実施に伴い発生する廃棄物の 3R 促進モデル事業

https://www.env.go.jp/recycle/food/kanren_siryu.html, 2018/10/31 0:50



環境省：平成 26 年度学校給食センターからの食品廃棄物の発生量・処理状況の調査結果 (平成 27 年)



農林水産省：食品ロス

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/161227_4.html, 2019/01/06

